

第209回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時:2007年12月18日(火) 13時~17時00分

会場: [東京理科大学薬学部校舎](#) [薬学部1442教室\(14号館\)](#) [アクセス](#)
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

講演主題:生体試料のHPLC分析最前線

HPLCは、食品・医薬・環境など幅広い分野で重要な分析ツールとして活用されています。今回、生体試料を取り扱う分野において、新しい方法論を創出するためにHPLCを用いて最前線で活躍されている先生方にご講演いただきます。

講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)
(第一三共(株))合田 竜弥
2. 臨床志向型分析研究
LC-MS/MSによるムコ多糖症スクリーニング法の開発ー (13:05~13:45)
(第一三共(株))小熊 敏弘
3. 含硫アミノ酸の高精度定量分析
ダイヤモンド電極型電気化学検出器を用いた分析系の構築ー (13:45~14:25)
(味の素(株))中山 聡
4. LC-MS/MSの新しい分離技術FAIMSとその選択性
イオンモビリティテクニックを使ったFAIMSインターフェイスの基礎と応用
(14:25~15:05)
(サーモフィッシャーサイエンティフィック(株))窪田 雅之
5. LC-MSによる毛髪試料のメタボリックプロファイリングとバイオマーカー探索の
試み (15:20~15:50)
(静岡県立大薬学部)稲垣 真輔
6. リン酸化メタボロミクスの検討と応用 (15:50~16:30)
(エーザイ(株))上原 泰介
7. 総括:生体試料分析におけるHPLCの活用法 (16:30~17:00)
(東京理科大学薬学部)中村 洋

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円、その他:
4,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

技術・情報交流会

講演終了後、講師を囲んで忘年会を開催します。会費2,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申 込 先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:hm_tanaka@jsac.or.jp]